



当たり前とも いえども 遠からず 連載

正会員 編集委員・大内雅博 OUCHI Masahiro (高知工科大学助教授)

前回、セメント消費量が建設工事量なり建設需要の指標として実態に合いそうだと書いた。

では、建設工事量は経済全体とどのような関係にあるのか。1人当たり国内総生産(GDP)の推移も示し、並べて比べてみることにする(図-1)。

第二次大戦後、曲がりなりにも経済はほぼ単調に成長してきた。一方、建設工事は1973年のオイルショックまでの増加、1991年まで増減の繰り返し、そしてバブル崩壊以降は減少傾向にある。

この説明だけでは経済力とセメント消費量との関係がつかみにくいと思うので、横軸にGDP、縦軸にセメント消費量を取り、比較してみた(図-2)。グラフの最後のほうではセメント消費量が真逆さまに落ちているように見えてあまりわかりやすいとはいえない。

そこで、セメント消費量をGDPで割り、その推移を示した(図-3)。GDP1万円当たりのセメント消費量である。いわば、**当たり前といえども遠からず、経済活動に占める建設工事の割合**を示し

ていると見なした。

ここで注目すべきは、何度も増減を繰り返してきたセメント消費量は、GDPとの比に着目すればきわめて緩やかかつ明快な推移を示していることである。すなわち、経済全体に対する建設工事の位置づけが、増加 → ピーク → 減少、の傾向にあることを読み取ることができよう。1962年までは経済成長率以上に建設工事量が増大し、それ以降1979年までは、多少の増減はあったにせよ経済成長と同率で建設工事量が増加してきた。一方、1980年以降は、経済全体に占める割合が低下する一方であり、経済成長ほどには建設工事量が増えていないということができ

る。結局、わが国の経済全体に占める建設工事の量は、ピーク時の3分の1にまで下がっている。

ここで面白いことに気がつく。建設需要が異常に多かったように思われた1987年から1990年までのいわゆるバブル期では、経済活動全体に占める建設工事量の占める割合がほぼ一定値であった。以前から続き、以後も続いている減少傾向がかるうじて下げ止まっていたというだけに過ぎなかったということである。

建設工事の量が今後どうなるのかを占う上では、もはや30年近くも経済全体に占める建設工事の量が減少傾向にあり、立ち止まりはすれ逆戻りはしていないことを認

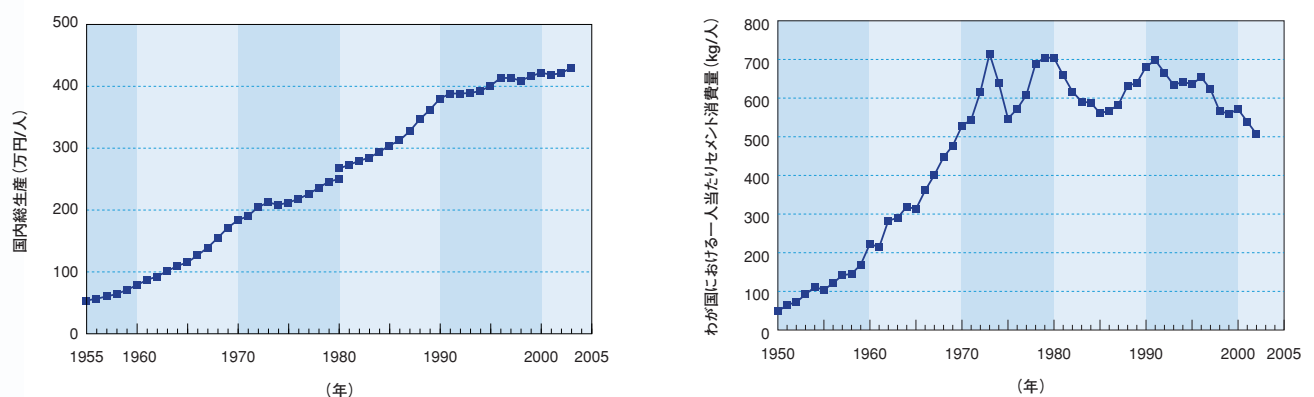


図-1 わが国における一人当たりセメント消費量(左)と国内総生産(右：1995年価格；1980年以前と以後とはGDPの計算方法が異なるので値が連続していない)

経済成長で建設は衰退？

識する必要があると思う。すなわち、この傾向が続く限り、今後建設工事量なりセメント消費量が増えるのは、経済全体がものすごく大きくなるか、経済のなかに占める建設工事量が大きくなるかのどちらかであるということになる。

なお、GDPではなく、実質建設投資額に対するセメント消費量（「セメント原単位」と呼ばれる）はこの20年の間でほとんど変化していないことを付け加えておく。

以上述べたことは、日本という一国を対象とし、時間の推移によるGDPの変化とセメント消費量との関係を示したものであった。では、世界各国のGDPとセメント消費量との関係はどうか。2003

年時点での、全世界176の国または地域における1人当たりGDPとセメント消費量の関係を図にしてみた（図-4）。ただし、世界中には1人当たりGDPが1,000ドル以下の国があまりにも多いので、横軸は対数目盛にしてある。なお、GDP1万ドル付近のセメント消費量が1,500kg以上ときわめて多いのは中東の産油国である。

国により、同等の経済力でもセメント消費量に幅があるのは事実であるが、

GDPが大きくなるにつれてセメント消費量が増加し、1万～2万ドルをピークに落ち着き、GDPがそれ以上になると減少し始める傾向を読み取ることができよう。

謝辞：セメント消費量についてのデータは（社）セメント協会、（株）セメント新聞社よりご提供いただきました。心より御礼申し上げます。

参考文献

- 1) 日本のGDPの推移：日本国勢図会 2004/2005、矢野恒太記念会、2004
- 2) 世界各国のGDP：世界国勢図会 2005/2006、矢野恒太記念会、2005
- 3) 建設投資額：国土交通省ホームページ <http://www.mlit.go.jp/toukeijouhou/chojou/index.html>

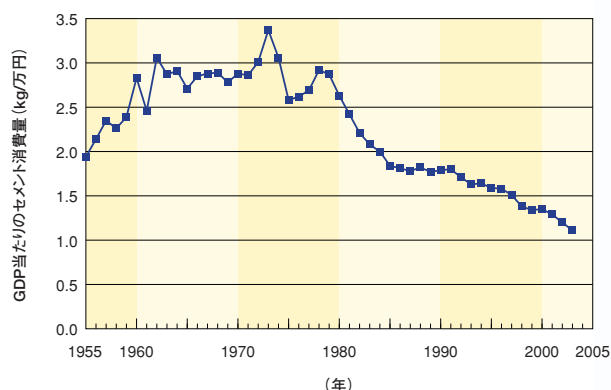


図-3 GDP 1 万円当りのセメント消費量の推移

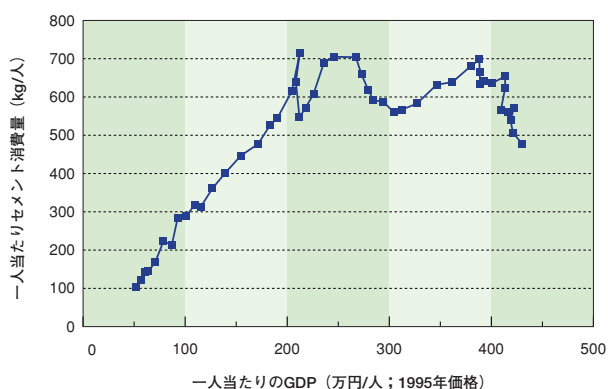


図-2 わが国における GDP とセメント消費量との関係 (1955～2003 年)

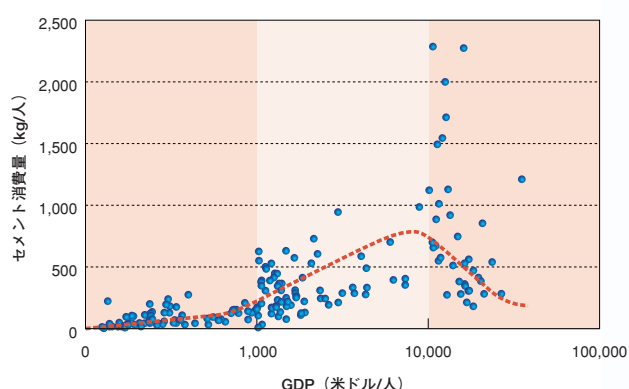


図-4 世界 176 の国・地域の 1 人当たり GDP とセメント消費量との関係 (2003 年)

(キャラクター&外枠デザイン：宇野洋志城)